

METT管弦楽団

第30回スプリングコンサート

The 30th Spring Concert



2026年5月2日(土) 杉並公会堂 大ホール

開場13:15 開演14:00 入場無料

指揮 佐藤秀義

ムソルグスキー: 交響詩 《禿山の一夜》

ワーグナー: 楽劇 《トリスタンとイゾルデ》 より
「前奏曲と愛の死」

ベートーヴェン: 交響曲第6番 《田園》

チケットはこちら



指揮者

佐藤秀義 Hideyoshi Sato

神奈川県横浜市出身。東京音楽大学指揮科を卒業後、ウィーン国立音楽大学に留学。

2024年、日本製鉄文化財団による指揮研修生オーディションに合格し、紀尾井ホール室内管弦楽団でアシスタントを務める他、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団で研鑽を積む。指揮を広上淳一、田代俊文、三河正典、三原明人、高関健、下野竜也の各氏に師事。

これまでにヨハン・シュトラウス一家の作品を数多く指揮するほか、毎年ウィーンで開催されるウィーン・シュトラウス研究所主催の国際シンポジウム“Tanz Signale”に参加するなど、シュトラウス王朝をはじめとしたウィーン音楽の演奏および研究をライフワークとしている。現在、日本ヨハン・シュトラウス協会理事、ウィーン・シュトラウス研究所会員、東京音楽大学指揮研究員。



METT 管弦楽団

私たちMETT (Music Ensemble of Toko and Todai-Fuzoku) 管弦楽団は、東京都内で活動するアマチュア・オーケストラです。由来は古く、戦前の旧制東京高等学校（東高）音楽部の流れを汲む大変歴史ある楽団です。そのため、団員の年齢層が高いことが当団の特長のひとつとなっておりますが、現在は幅広くメンバーを募っており、各大学オーケストラの出身者を中心に、20歳代から80歳代までの熱心な同好の士で構成されています。練習会場は、主に千代田区麹町。現在、春のスプリングコンサートと秋の定期演奏会を中心に活動しています。

表面絵画について：19世紀末から20世紀初頭のウィーンでは、ワーグナーの提唱した総合芸術の理念が大きな影響力を持っていました。ワーグナーの楽劇《トリスタンとイゾルデ》に象徴される「愛と死」「恍惚」「永遠」といった主題は、表面に印刷されたクリムトの代表作《接吻》にも通じるものがあります。また、クリムトの有名な壁画《ベートーヴェン・フリーズ》は、総合芸術の理念のもと、ベートーヴェンの世界を視覚的に体現した代表的な試みといえます。

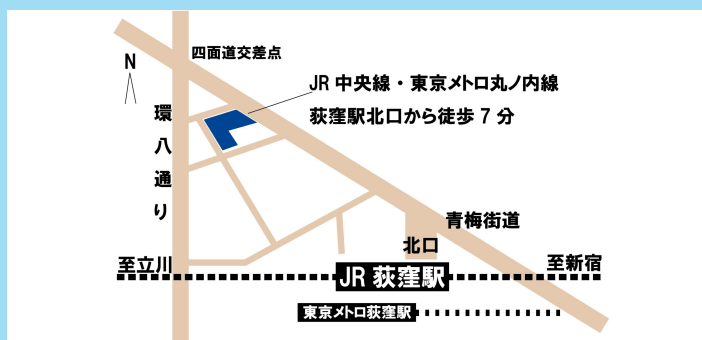
チケットについて

入場は無料ですが、入場券が必要になります。当日券もご用意していますが、なるべくインターネットのサイト「teket」より入場券（電子チケット）をご入手ください。表面にあるQRコードからお入りいただくか、「teket」(<https://teket.jp>)ページで「METT管弦楽団」あるいは「METT管弦楽団第30回スプリングコンサート」を検索し、手順に従って操作してください。「teket」を初めてご利用の方は会員登録が必要です。なお、当日券は席の指定ができません。受付でお渡しするチケットの席にお座りいただくことになります。

杉並公会堂アクセス

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

* 駐車場はありません。



お問合せ: METT管弦楽団総務・坂中 (mettorchestra@gmail.com)